

完了後の評価個表

整理番号	16
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	奈良県
地域（地区）名	よしの 吉野	事業実施主体	県、森林組合、森林所有者等
関係市町村	ごじょうし 五條市 ほか 6 町村	管理主体	県、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23 年度～H30 年度（8 年間）	完了後経過年数	5 年

事業の概要・目的	本地域は奈良県の中央部に位置し、1 市 3 町 3 村からなる総面積 94 千 ha を包括する地区である。 森林面積は 79 千 ha（林野率約 84%）であり、このうち民有林は 77 千 ha で、民有林の人工林率は約 74%となっている。 本地区内の人工林は、現在成熟期を迎えている一方で、間伐対象林分（3～12 齢級）が 33%を占め、主伐及び間伐といった資源の循環利用を促進していくことが求められているが、近年の木材価格低迷の影響で手入れの遅れている人工林が多く、森林の有する多面的機能を確保するため、森林の整備を緊急に実施することが必要となっている。 このため、本事業は、水源涵養機能や山地保全機能などの森林の有する多面的機能を維持するとともに、木材の生産コストの低減を図ることで林業の振興を推進するため、間伐や森林作業道の作設などの森林整備を積極的に実施したものである。 ・主な事業内容 森林整備 3,302ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐、森林作業道等 ・総事業費 2,399,192 千円（税抜き 2,284,945 千円）
----------	--

① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	令和 6 年度時点における費用便益分析の結果は、以下のとおりである。 労務単価上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴い事業量が変動している。また、大規模集約化施業を推進したことにより、森林整備の事業量が増大したものと考えられる。 総便益（B）35,955,302 千円 総費用（C）10,761,712 千円 分析結果（B／C）3.34
② 事業効果の発現状況	・植栽されたスギ・ヒノキなどの成長は下刈り等の保育の効果もあり良好である。また、間伐等により明るくなった林内には下層植生が繁茂するなど健全な森林として育成されている。 ・本県の急峻な地形特性を踏まえた壊れにくく繰り返し使用出来る作業道（奈良型作業道）が 147,730m 整備されたことにより効率的・効果的な森林施業を推進すること

	ができています。
③ 事業により整備された施設の管理状況	整備された森林については、森林組合等による適切な整備が実施されるなど維持管理状況は良好である。
④ 事業実施による環境の変化	森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、様々な多面的機能が発揮されている。
⑤ 社会経済情勢の変化	戦後に植栽された人工林が間伐対象森林として多数存在しているなか、長引く林業経営の不振、山村の過疎化の進行による林業就業者数の減少、高齢化により林業生産活動の低下傾向が続いている。 こうした状況の中、高性能林業機械等の導入やオペレーターの育成、さらには林道及び森林作業道の連結により効率的・効果的な森林施業を推進することが必要である。
⑥ 今後の課題等	森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、基盤となる森林作業道整備に取り組むとともに、伐採とコンテナ苗を活用した造林の一貫作業システム等を確立するほか、有用広葉樹を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。また、森林所有者に対する普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。 地元の意見： （奈良県） 本流域内の間伐対象林分（3～12 齢級）は人工林面積の 33%を占めていることから、引き続き間伐等の森林整備が必要である。 （森林組合） 環境に対する住民の関心が高まる中、以前にも増して森林整備の重要性が認識され、本事業の活用は森林所有者による森林整備施業の弾みとなっている。適切に整備された森林は良好な環境を形成し、地域住民等へ快適な生活環境を提供している。引き続き適切な森林整備の実施に努めていく。
評価結果	必要性： 間伐等の森林整備等を通じて、水源涵養機能の発揮や山地保全等が図られ、地域における水源地や、土砂の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性が認められる。 効率性： 森林施業の集約化や路網整備等による森林整備が実施されており、費用便益分析を実施した結果、費用以上の効果が得られており、効率性が認められる。 有効性： 適切な森林施業の実施により森林の有する多面的機能の維持・増進に寄与しており、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：奈良県

地域(地区)名：吉野

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	12,154,781	
	流域貯水便益	1,825,061	
	水質浄化便益	7,653,419	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,482,492	
	土砂崩壊防止便益	16,392	
環境保全便益	炭素固定便益	2,029,727	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,793,430	
総 便 益 (B)		35,955,302	
総 費 用 (C)		10,761,712	
費用便益比	$B \div C = \frac{35,955,302}{10,761,712} = 3.34$		

森林環境保全整備事業 吉野地域(奈良県)

